

Media Information

令和4年3月31日 老健ひょうご (兵庫県介護老人保健施設協会機関誌)

支援相談員部会研修会の記事が掲載されました。



研修等報告



支援相談員部会研修会

清華苑養力センター

支援相談員 酒井 渉

普段の業務に加えコロナウイルスに関連する対応に追われ、どの施設も大変苦労している現状の最中でも老健は機能し続けなければならぬことから、BCPに着目した研修を実施することになりました。

令和三年十二月三日(金)、兵庫県民会館においてフォックスブルー(株)代表取締役の早川英樹氏を迎え、「高齢者介護施設における感染症や災害における非常事態への備えと、BCP作成時に押さえておきたいポイント」について講義いただき、五十

九名が参加しました。また、研修当日は兵庫県で地震が観測され、いつ起こるかわからない災害の対策も考えておく必要があることを実感した日にもなりました。

マスク、手指消毒、防護服の活用など、感染対策の基本を徹底することがリスク軽減に繋がること、また、一人ひとりの気が緩みかけた時が危険であり職員の意識も重要であること、地震や水害などの際、BCPが機能できる体制にあるか等改めて考える良い機会になったと思います。

オンライン研修にするか、集合研修にするか、支援相談員部会で検討し悩んだ結果、感染対策の徹底をした上で、集合研修ですることになりました。オンライン研修は会場まで足を運ばなくてよいというメリットはありますが、グループワークとなるとやりづらさを個人的には感じていました。

集合研修は、対面して参加者がどのような表情で参加しているのかとてもわかりやすいので、コミュニケーションしやすいというメリットがあります。また、参加者同士で日々のことを情報共有する機会にもなり、コロナに関する話を聞いていると、どこも大変な苦勞をされていると感じましたが、対面で話ができることも集合研修の良さであることを改めて再認識しました。

我が老健でも七月から超強化型を算定するようになり、超強化型の算定とコロナの対策に駆け抜けた年でした。今回の研修で得たことを含めより一層地域に貢献ができる老健として、努力していきます。